

今日のトピック 2024年4月の注目イベント

日銀の展望レポートやFRBの量的引き締め方針に注目

- 日本では、25～26日に金融政策決定会合が開かれます。日銀は3月会合で、マイナス金利政策を含む大規模緩和政策の解除を決めました。4月会合では、新たな物価見通しなどを示す「経済・物価情勢の展望（展望レポート）」が公表されます。日銀の利上げペースを見通す上で、展望レポートが注目されます。
- 米国では、月末から米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されます。米連邦準備制度理事会（FRB）は3月のFOMCで、政策金利を5会合連続で据え置き、経済見通しでは年内3回としていた利下げ予想を維持しました。次回会合では、量的引き締め（QT）の資産圧縮ペースの減速が決定されそうです。
- 中国では、16日に1-3月期のGDPが発表されます。不動産市場の低迷が続くなか、全国人民代表大会（全人代）で中国政府が掲げた24年の経済成長率目標である「5%前後」達成の実現性が注目されます。
- 人口が世界1位になったインドでは、「総選挙」が各州で4月19日から6月1日にかけて行われます。世論調査によれば、高成長が続く経済を追い風に、モディ首相率いる与党インド人民党が優勢の様態です。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2024年4月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:3月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 3日:3月ISM非製造業景況指数 4日:2月貿易収支 5日:3月雇用統計 10日:3月消費者物価指数(CPI)、FOMC議事要旨	3日:ユーロ圏3月CPI 5日:ユーロ圏2月小売売上高	1日:中国財新3月製造業PMI 3日:中国財新3月非製造業PMI 5日:インド金融政策決定会合	1日:3月日銀短観 5日:2月家計調査、2月景気動向指数 8日:2月国際収支、3月景気ウォッチャー調査 10日:3月企業物価指数
11日:3月生産者物価指数(PPI) 12日:4月ミシガン大学消費者センチメント指数 15日:3月小売売上高 16日:3月鉱工業生産 17日:米地区連銀経済報告	11日:欧州中央銀行(ECB)理事会 15日:ユーロ圏2月鉱工業生産 16日:ユーロ圏2月貿易収支 17日:イギリス3月CPI	11日:中国3月PPI、3月CPI 16日:中国1-3月期GDP 、3月小売売上高、3月鉱工業生産、3月固定資産投資 19日-6月1日:インド総選挙	15日:2月機械受注 19日:3月全国CPI
23日:4月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI)、3月新築住宅販売 25日:1-3月期GDP 26日:3月個人消費支出(PCE)デフレーター 、3月PCE、3月個人所得、2月ケースシラー住宅価格指数 30日-5月1日:FOMC	22日:ユーロ圏4月消費者信頼感 23日:ユーロ圏4月製造業・非製造業PMI 24日:ドイツ4月IFO企業景況感指数 30日:ユーロ圏1-3月期GDP 、ユーロ圏4月CPI	24日:豪1-3月期CPI 25日:トルコ金融政策決定会合 30日:中国4月製造業・非製造業PMI、財新4月製造業PMI、メキシコ1-3月期GDP	24日:3月企業向けサービス価格指数 25-26日:日銀金融政策決定会合 26日:4月東京都区部CPI 30日:3月小売業販売額、3月鉱工業生産、3月住宅着工件数、3月失業率、3月有効求人倍率

(注) 2024年3月22日現在。日付は現地時間。予定は変わる可能性があります。

(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之 (いしい やすゆき)

ここもチェック! 2024年2月26日 2024年3月の注目イベント
2024年1月26日 2024年2月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。